

聖書研究 第八課 降伏

神が私たちの人生において現実に、活動的に働いておられることに気づく時、私たちは、彼についてもっと学びたい願望を持ちます。私たちが、私たちの罪深さと、キリストの必要を感じ始める時、私たちは、彼との個人的な関係を望み始めます。私たちは、彼に私たちの愛を捧げたいと思っても、ときには、そこには何もないように思われることがあります。この改心の働きはどのように始まるのか、そして私の役割は何でしょうか？ 降伏について学び始める時、私たちはもっとはっきりと悟ることでしょう。

1. 天国に入るために必要とされる義について、イエスは何と教えましたか？ マタイ 5 : 20

2. 救いに必要とされるのは、どんな種類の義ですか？ ガラテヤ 2 : 15, 16, 21

注：信仰による義は取引です；これまで行われた中で最も大きい取引です！私たちはキリストの神聖な義と私たちの全くの罪深さを引き替えののです。これが、私たちが天国に入ることのできる唯一の義です。私たちの善い働きや行いによって、救いを得ようとするのを止めて、私たちの意志を神にささげる時、私たちは、このキリストの義を受けます。

3. キリスト・イエスにあずかるバプテスマを受ける人たちは、どんなバプテスマにもあずかるのですか？ ローマ 6 : 3

4. 罪人はどのように殺されるのでしょうか？ ローマ 6 : 6 _____

注：もし、人が望むならば、自分自身を殺すことができる多くの方法があります。銃であなた自身を撃つこと、丸薬を飲むことなどは出来ます。しかし、自分を十字架につけて殺すことは、だれにもできません。そしてそれは、降伏することと同じ方法なのです。誰かほかの人が、私たちのためにそれをしなければなりません。その誰かとは神です。しかし、彼は紳士なので、彼は、彼自身を強制したり、または、私たちの意志に逆らって私たちを所有することはしません。彼は、まず私たちの許可を求めます。黙 3 : 20

5. 死人は罪を犯しますか？ ローマ 6 : 7 _____

注：私たちは、肉体の生命において生まれてそれから死にます。私たちは、まず、霊的生命に死に、それから生まれ変わります。

6. 自己をささげることについて、イエスはどのように話しましたか？ マタイ 16 : 24-26

注：私たちは皆、死ななければなりません！私たちの選びは、自己に死んで、キリストにあって新たに生まれることを望むか、あるいはキリスト無しで死に、私たちの救いを失うかのどちらかです。私たちがこの世の人生の支配にしがみつけばしがみつくほど、私たちはさらに確実に、私たちの永遠の命を失うこととなります。しかし、私たちが、キリストに支配していただくために明け渡す決心をする時、…私たちは永遠の命を得るのです！

7. 自己をささげることは、一回だけの経験ですか？ ルカ 9：23 _____

8. 霊的な死の後に、命はあるのですか？ ローマ 6：4, 5 _____

9. 新しい命を支配するのは誰ですか？ ローマ 6：13 _____

注：器は、完全に他のもの（人）によってコントロールされます。明け渡すこと、あるいは降伏することは、私たちが何もできないことを、認めていることとなります。それゆえ、当然、明け渡しの段階まで私たちを導く働きは、神の業に違いありません。それは、私たち自身のために何かできものではありません。

10. 私たちの人生をだれに支配されるかに関して、どんな選びがありますか？ ローマ 6：16；ルカ 11：23；ヤコブ 4：4 _____

注：私たちは、神あるいはサタンのどちらかに支配されています！私たちが持つことのできる唯一のコントロールは、だれに私たちを支配しようとしているかを選ぶことです。「われわれは、キリストの支配に服していないときに、悪魔に支配される。われわれはこの世の主権を争っている二大勢力のどちらかに必然的に支配されるのである。暗黒の王国の支配にはいるためには、わざわざその国の奉仕をえらぶ必要はない。光の王国と同盟することを怠りさえすれば良いのである」。

II 各時代の希望 p. 41,42

11. 私たちはどのように悪魔と彼の支配に抵抗しますか？ ヤコブ 4：7-8 _____

注：神に屈服して、近づきなさい。あなたのために、サタンに対して、神に戦っていただきなさい。あなたは、独力では十分に強くはないのです。

12. 私たちは、私たちの意志を用いて、意志の力で善を行うことになっているのではありませんか？ ローマ 7：18-19 _____

注：「すべてはただ意志の正しい行動にかかっているのです。神は人間に選択の力をお与えになりました。つまり人がそれを用いるようにお与えになったのであります。私どもは自分の心を変えたり、また自分で愛情を神にささげることはできません。けれども神に仕えようと選ぶことはできます。意志は神にささげることができます。そうすれば神は私どものうちにお働きにな

って、神の喜びたもうように望み、また行おうようにしてください。こうして性質は全くキリストのみたまに支配されるようになり、キリストが愛情の中心となり、思想もまたかれと一致するようになります」。

キリストへの道、p. 60

結論： 私たちの時間を、良い行いに浪費する代わりに、私たちは、それらのエネルギーを、キリストと共に過ごす時間に切り替える必要があります。私たちが、日毎にキリストを眺めるために時間を使う選びをする時、また私たち生活の中に、彼が働きをなさるように彼を招くときに、彼は私たちを、全く降伏する段階まで、一步一步導いて下さいます。彼がその地点まで私たちを導いた時にのみ、降伏が可能となるのです。

第八課の答えとなる鍵

質問 1. それはパリサイ人にまさる、または越えるものでなければなりません。

質問 2. ただ信仰だけから生じる神の義です。

質問 3. キリストの死。

質問 4. キリストと共に十字架につけられることによって。

質問 5. いいえ。

質問 6. キリストの十字架をとって、彼に従うことによって。

質問 7. いいえ。

質問 8. はい。

質問 9. 神。

質問 10. 神、あるいは、サタン。

質問 11. 屈服すること、そして、神に近づくことによって。

質問 12. 私たち自身ではできません。

